

日本ガス協会 広瀬会長 会見発言要旨

2019年1月22日

1. 2019年の情勢

今年は行事が目白押しであり、大変な一年になると認識している。3月に英国のEU離脱交渉期限を迎え、国内では改元により新しい時代がスタートする。政治においては統一地方選・参議院選が行われ、同時選も取りざたされるなど選挙イヤーである。経済面では10月の消費税率アップ、またそれに合わせた軽減税率の初導入が予定されている。さまざまな対策が講じられているが、消費税増税と軽減税率の導入がスムーズに実施されるよう望んでいる。また、国際的にはG20首脳会合が大阪で開催されるが、それに先立って軽井沢で6月15日から開催されるエネルギー・環境関係閣僚会合を、エネルギー業界は特に注目している。

2. ガス関連の予定

今年は11月でLNG導入50年となる、節目の年である。

3月にはガス安全小委があり、またガス協会内の中長期地震WGでレジリエンス強化に向けた検討を行っている。

6月にはG20が行われるが、毎年IGUがG20に合わせてNatural Gas Dayというイベントを開催しており、今年も日本でぜひとも開催したいとの要請を受け、G20の前段での開催を予定している。

10月31日は「ガスの記念日」だが、本年は他業界や新規ガス小売事業者も含め、天然ガスの普及促進につながるイベントを開催したい。

3. 2019年の取り組み

ガス協会のミッションは、「ガス事業の健全な発展、天然ガスの普及拡大等を通じた日本経済・国民生活の向上への寄与」である。この役割を果た

すべく、2019年は3つの事項に取り組む。

1つ目は、「レジリエンスの強化」である。昨年は自然災害が多い年であったが、それを踏まえたさまざまな検討をしており、「目指すべきゴール」に向け、本年はそれらを実行に移していきたい。顧客サイドでいえば、停電対応型コジェネの導入の促進、設備面でいえば、製造設備や導管設備の強靱化にも努めていきたい。

2つ目が、「地球温暖化対策を踏まえた天然ガス・LNGの普及促進」である。実際の普及活動は会員各社が取り組むが、ガス協会はそれを支援するため、いろいろな機会をとらえて国内外に天然ガスの価値訴求を行っていく。具体的には、6月のNatural Gas Dayや、10月のガスの記念日に合わせたイベントなどを通じて情報発信に努める。

3つ目が「地域活性化」である。地方事業者は地域活性化に寄与するような活動に注力しており、それがガス事業の発展や天然ガスの普及促進につながっている。そういった活動に対しガス協会としても支援していきたい。今までは地方持ち回りで技術を中心としたフォーラムを行ってきたが、今年は地域活性化を主題としたフォーラムを11月に開催したいと思っている。

各ガス事業者は、自由化、デジタル化、グローバル化等により社業が忙しくなっている。会員経営者の業界活動の負担を減らし、自社の経営に時間とコストをかけられるよう、ガス協会の改革を進めていきたい。

4. 最後に

今月27日、全国親子クッキングコンテストの全国大会が東京ガス新宿ショールームで開催される。各地域の予選を通過した11組の方々が決戦をして勝者を決めるもので、全国で6万組を超える参加者の頂点を決めるエキサイティングなコンテストである。ぜひ注目いただきたい。

以上